

中期財政運営方針について

1. 中期財政運営方針の目的

- (1) 日野地域ビジョン 2030、総合戦略を財政分野で補足し、財政的な「あるべき姿」を示す
- (2) 「持続可能な財政運営の実現」への取組み方針を定める

2. 中期財政運営方針の構成

(1) 策定の主旨

(2) 財政の状況

① 実質収支と財政調整基金残高(普通会計)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 黒字額として一定程度確保 ・ 財政調整基金の残高は回復傾向
② 実質収支・財調残高の26市比較	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民一人当たりの財調残高32.36千円(15位/26市) ・ 市民一人当たりの財調残高+実質収支(10位/26市) ・ 突発多岐な需要等への対応力がある
③ 歳入(市税・国庫支出金・都支出金)	<ul style="list-style-type: none"> ・ ほぼ横ばい～やや増
④ 市民一人当たりで見た歳入	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市税収入(14位/26市) ・ 国都支出金(22位/26位)
⑤ 市民一人当たりでみた歳出	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歳出額(25位/26市) ・ 歳出額(義務的経費)(16位/26市)
⑥ 人件費	<ul style="list-style-type: none"> ・ 50代(団塊ジュニア)が多く、40代が少ない ・ ラスパイレス指数 26市平均98.9より低い97.8

(3) 持続可能な財政状況にむけて(目標数値の目安) …現時点では適正な範囲内

- ① 財政調整基金等の比率(決算時点)…標準財政規模の20%程度【R6 決:25.381%】
- ② 元本償還額分を除く経常収支比率…85%程度【R6 決:85.56%】
- ③ 公債費負担比率と将来負担比率…公債費負担比率 9%程度【R6 決:7.1%】

(4) 今後の見込みについて

- ・ 5か年の財政フレームを参考として表記
- ・ 中長期の財政フレームの推計精度や、活用について今後検討

(5) 基本的取組み方針

- ・ 個別の担当部・課に深くかかわる内容や、具体的な内容は取り上げない
- ・ 一般的に財政からの視点での整理として反発を生じない内容